

施工手順書⑨-2

フィット(fit)

片引き戸(上吊)

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

- | | |
|------------|--|
| ①木工事 | ①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様 |
| ②クロス・塗り壁工事 | |
| ③扉・金物の取付 | ③-1. 開き戸
③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)
③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
③-4. 片引き戸(床付レール) |

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

- | | |
|------------|---|
| ④クローゼット | ④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸
④-3. スライド片開き戸 |
| ⑤オートマチックドア | ⑤-1. 片引き戸(上吊) |
| ⑥ヴェトロ | ⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸 |
| ⑦カエサル | ⑦-1. スイングドア |
| ⑧マルコ | ⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊) |
| ⑨フィット | ⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚違い戸(上吊) |

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

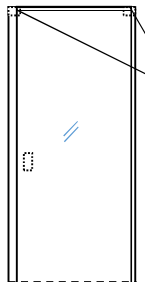
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

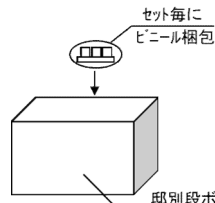
forステルス枠

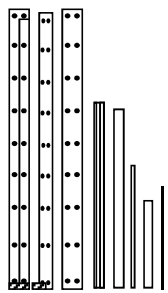
施工手順書2021/9更新


■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同	梱	品
部材	数量	備考			
引き戸	1枚	引手取付済み(注1) ケーシング取付済み			
 <p>ケーシング (旧名称: 固定カップ)</p> <p>A面: ミラー/(注1)通し引手 B面: 化粧面材/(注1)引手金物</p>					<p>(注意)</p> <p>フィットの扉重量は最大約55kgです。</p> <p>・扉を運ぶ時、吊り込む時の角当て等、取扱いには十分ご注意ください。</p> <p>・重量扉専用の上レール、上ローラーを使用しております。</p> <p>他シリーズの上レール、上ローラーとは互換性がございません。</p>

建具金物箱			同	梱	品
部材	数量	備考			
金物箱	10セットに付1箱				
 <p>セット毎に ビニール梱包</p> <p>郵便段ボール箱</p>					

下地枠			同	梱	品
部材	数量	備考			
縦枠下地	1本				
中方立下地	1本				
片方立下地	1本				
上枠下地	1本				
開口定規	1本	下地枠内(狭)寸法用			
	1本	下地枠内(広)寸法用			
見切縁	1本	ラフカット			
隙間隠し材	1本	上枠勝ち納まりは無し			
					

施工手順書			同	梱	品
					

□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地金物箱			上レール	上ローラー	デュアルソフトクローザー																																	
部材	数量	備考	 1本(付属ビス含む)	 1ヶ	 1ヶ																																	
金物箱	1式																																					
レール	1式		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>セット毎に梱包</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p>同梱品</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>エンドプレート</td> <td>化粧キャップ</td> <td>トリガー</td> <td>トリガー取付治具</td> </tr> <tr> <td>  2ヶ(ビス2本付) </td> <td>  2ヶ </td> <td>  2ヶ(ビス4本付) </td> <td>  1ヶ </td> </tr> <tr> <td>スパナ</td> <td>調整ビス</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>  1ヶ </td> <td>  ※標準耐火納まりの場合 1セット </td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">※下部部品はタイプにより異なります</td> </tr> <tr> <td>標準品</td> <td>別売品</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>床付ガイド</td> <td>壁付ガイド</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>  1ヶ(ビス2本付) </td> <td>  1ヶ(ビス4本付) </td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </div> </div>				エンドプレート	化粧キャップ	トリガー	トリガー取付治具	 2ヶ(ビス2本付)	 2ヶ	 2ヶ(ビス4本付)	 1ヶ	スパナ	調整ビス			 1ヶ	 ※標準耐火納まりの場合 1セット			※下部部品はタイプにより異なります				標準品	別売品			床付ガイド	壁付ガイド			 1ヶ(ビス2本付)	 1ヶ(ビス4本付)		
エンドプレート	化粧キャップ	トリガー					トリガー取付治具																															
 2ヶ(ビス2本付)	 2ヶ	 2ヶ(ビス4本付)					 1ヶ																															
スパナ	調整ビス																																					
 1ヶ	 ※標準耐火納まりの場合 1セット																																					
※下部部品はタイプにより異なります																																						
標準品	別売品																																					
床付ガイド	壁付ガイド																																					
 1ヶ(ビス2本付)	 1ヶ(ビス4本付)																																					

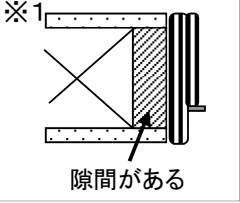
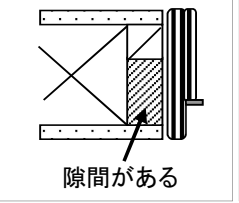
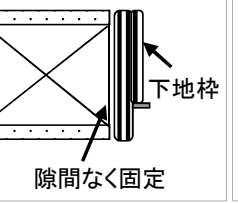
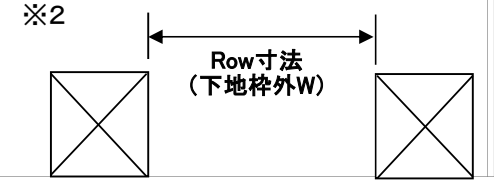
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

1 施工前の確認事項

① 下地枠を取付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

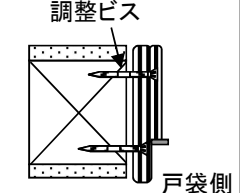
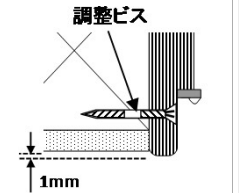
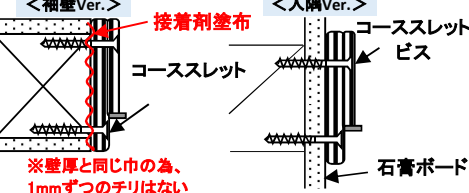
※1				
	×	×	○	
※2				
	図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認			

注意

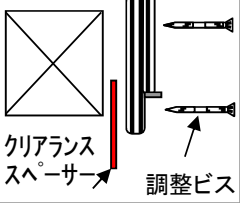
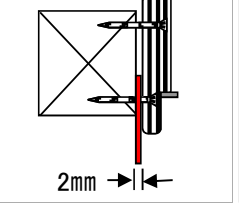


※1：下地枠は躯体（構造材）に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2：施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
 ※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で精度を十分に確認してください。

2 縦枠下地の取付け

① 縦枠下地を柱に固定します。
 （下地断面の厚みが薄い方が戸袋側）
 枠の位置は壁厚の真ん中に置き、柱にあててレーザー等で立ちを見ながら同梱されている調整ビスにて枠の固定を行ってください。（縦枠下地は壁厚より1mmずつチリが出ます）
※準耐火納まりの場合、1mmのチリはありません。

		
調整ビスにより枠を固定	壁厚より1mmずつチリが出る	【準耐火納まりの場合】 コーススレットビスで固定(2mmクリアランスは無) 入隅の場合、石膏ボードの上に縦枠を取付け

② 取付けの際に調整ビスの中に同梱されているクリアランススペーサー(2mm)を躯体と枠の間に入れ、クリアランスを保ち、ビス固定を行ってください。（図面寸法：躯体と縦枠下地のクリアランスは2mm）また、縦枠下地の裏側下部にあらかじめ2mmのパッキン材がついています。
※準耐火納まりの場合、2mmのクリアランスは不要です。

			
クリアランススペーサーを挟む	2mmのクリアランスを保ち調整ビスにより枠固定		予め縦枠下地の裏側下部に2mmのパッキン材が取付済

注意

※縦枠下地の下部裏側にあらかじめ2mmのパッキン材が取付けてありますので、枠内寸法が確保できない場合以外は外さないでください。
 ※クリアランススペーサーが抜けない場合は、手動ドライバーにて少しゆるめてから外してください。
 ※躯体がスタッドの場合は石膏ボードに直接、縦枠下地を取付けると調整ビスが利かないので、必ず間に木材（15mm以上）を入れてください。
 ※調整ビスを何度も出し入れすると、ビス穴が広がり調整が利かなくなる可能性があるため、その際は別の所で再度、取付けを行ってください。

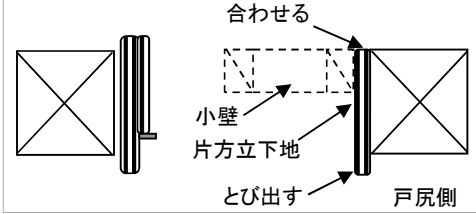
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

3 片方立下地の取付け

- ① 片方立下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(小壁側の壁面と下地材を合せます)



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

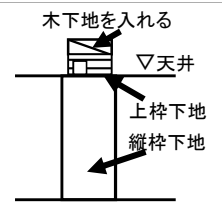
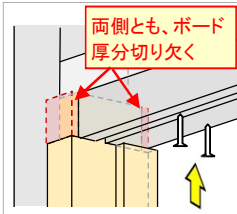
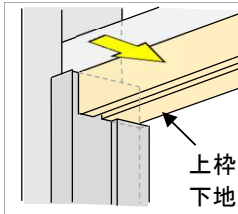
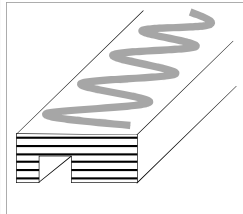
片方立下地の取付け位置

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

4-1 上枠下地の取付け (上枠勝ち納まりの場合)

- ① 上枠下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取付け位置は壁厚の真ん中となります。(縦勝ちに納まります) その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。



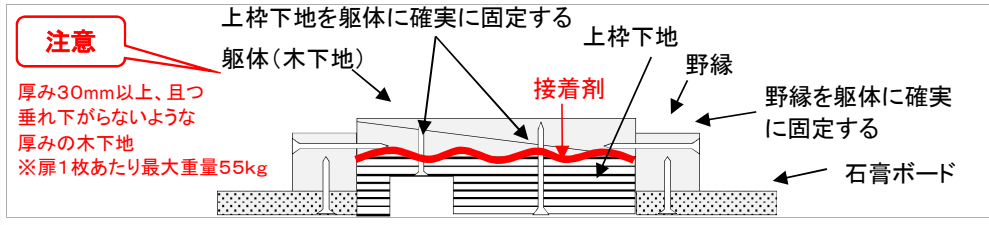
下地裏面に接着剤全面塗布

上枠を縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定

上枠下地の裏には木下地を入れる

- ② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置でビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
- ※縦枠下地、及び片方立下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

4-2 上枠下地の取付け (天井ボード勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取付け位置は壁厚の真ん中となります。(縦勝ちに納まります)その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>				
<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>縦枠勝ちに納める</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>上枠下地の裏には30mm以上(注意)の木材を入れる</p>	
<p>② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してください。その後、石膏ボードを上レール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。</p>				

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許公差をお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置でビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
- ※縦枠下地、及び片方立下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

5-1 中方立下地の取付け方 (床付けガイドを使用する場合)

<p>① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです)次に、戸袋側の小壁に沿わせて見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取付けます。</p>				
<p>② 見切縁の15mmの面に石膏ボードを乗せてください。(石膏ボードは、12.5mmの設定なので2.5mmのチリが出ます)天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地の上レール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸にカットして取りつけてください。</p>			<p><天井ボード勝ち納まりの場合></p>	<p><天井ボード勝ち納まりの場合> 上枠下地の上レール溝と小壁の間に隙間隠し材を取りつける ※クロスの場合は24mm、塗り壁の場合は27mm</p>
<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>小壁を立てて中方立下地の取付け</p>	<p>石膏ボードを乗せる</p>	<p>見切縁の取付け</p>	

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許公差をお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

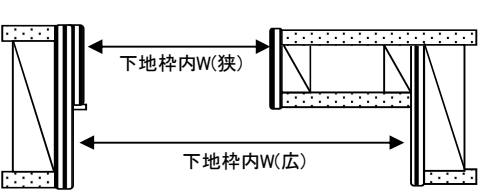



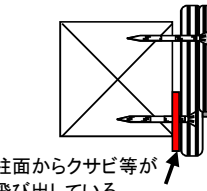
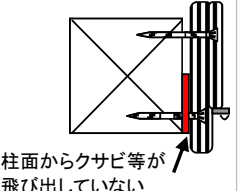
forステルス枠

施工手順書2021/9更新

5-2 中方立下地の取付け方（壁付けガイド（別売品）を使用する場合）

<p>① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです)</p> <p>戸袋側の小壁に沿わせて見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取付けます。その際、中方立下地から21~22mm程度隙間を開けて取付けてください。</p>			
<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>小壁を立てて 中方立下地の取付け</p>	<p>見切縁を中方立下地から21~22mm程度 隙間を開けて取付ける</p>	
<p>② その後15mmの面に石膏ボードを載せてください。(石膏ボードは、12.5mmの設定なので2.5mmのチリが出ます)</p> <p>天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地の上レール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸カットして取りつけてください。</p>			
<p>石膏ボードを乗せる</p>	<p>石膏ボードを乗せる</p>	<p><天井ボード勝ち納まりの場合> 上枠下地の上レール溝と小壁の間に 隙間隠し材を取りつける</p>	<p><天井ボード勝ち納まりの場合> 上枠下地の上レール溝と小壁の間に 隙間隠し材を取りつける ※クロスの場合は24mm、塗り壁の場合は27mm</p>
<p>注意</p> <p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)</p> <p>※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めてください。</p> <p>※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。</p> <p>※見切縁を取付ける時は、必ず中方立下地から21~22mm程度隙間を開けて取付けてください。隙間を開けないと壁付けガイド(別売品)を取付ける時に、見切縁と干渉し扉の動作に支障をきたす事となります。</p>			

6 縦枠下地の調整・クサビまたはパッキン材固定 ※準耐火納まりの場合は不要

<p>① 下地枠の取付けが終わったら同梱品の開口定規(2種類)にて、下地枠内W寸法の確認をしてください。(狭)・(広)調整が必要な時は手動ドライバーにて縦枠下地の出し入れを行ってください。</p>				
<p>下地材内に(狭)と(広)の開口定規にて開口を確認</p>	<p>下地材内に(狭)と(広)の開口定規にて開口を確認</p>	<p>下地枠内(狭)</p>	<p>下地枠内(広)</p>	
<p>② ビスでの取付け・調整が終わったら、縦枠下地と躯体の間にクサビ、またはパッキン(現場手配品)を接着剤併用にて入れて固定してください。</p>				
<p>クサビまたはパッキンの表裏に接着剤を塗布し、 縦枠下地と躯体の間に差込む</p>	<p>クサビまたはパッキンの表裏に接着剤を塗布し、 縦枠下地と躯体の間に差込む</p>	<p>クサビまたはパッキンの入れ方 ×</p>	<p>クサビまたはパッキンの入れ方 ○</p>	<p>クサビまたはパッキンの入れ方 ○</p>
<p>注意</p> <p>※ウォールスルーが並列する場合や、その他納まりでビスがはみ出してしまう恐れがある場合については、別のビス(現場手配品)にて取付けを行ってください。</p> <p>※クサビ、またはパッキンは、ビスとビスの間に入れてレーザー等で立ちを見ながら行ってください。</p> <p>※クサビ、またはパッキンが柱面から飛び出していると石膏ボードの取付けができないので、柱面からクサビ等が飛び出させないようにしてください。</p> <p>※開口定規は2種類ありますので用途別に使い分けてください。(狭)・(広)</p>				

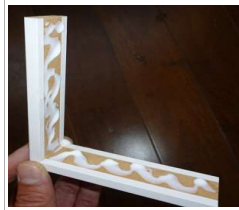
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

7 巾木施工

- ① 巾木を接着剤にて縦枠下地の欠き込み部分にはめ込むように取付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



下地の巾木欠き込み部分
(7×30)



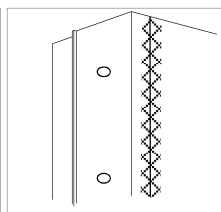
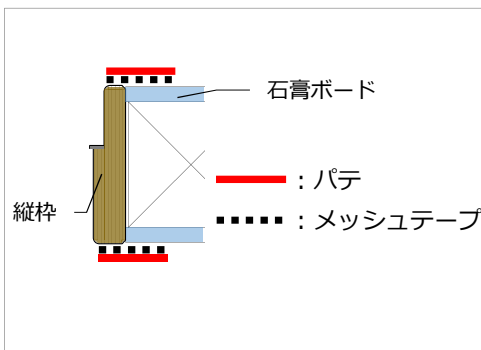
下地の欠き込み部分にはめ込むように取付け

注意

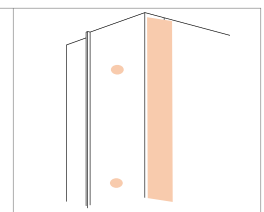
※出荷時にはシンプル巾木の欠き込み(7×30)がされています。30mm以上の巾木をご使用の場合は、現場にて高さ方向の切り欠きを行ってください。(巾木厚さ7mm以上の対応は行っておりません)

8 縦枠クロス施工【縦枠袖壁納まりの場合】

- ① 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。

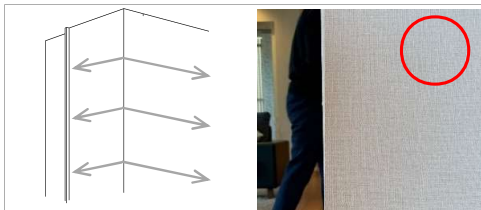


ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る

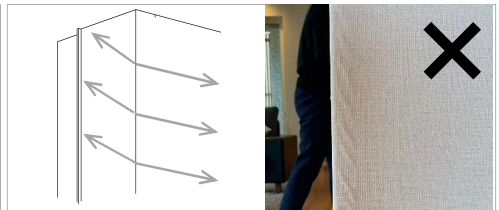


ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)

- ② 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る



枠に巻き込む際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります

注意

※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。

※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。

□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

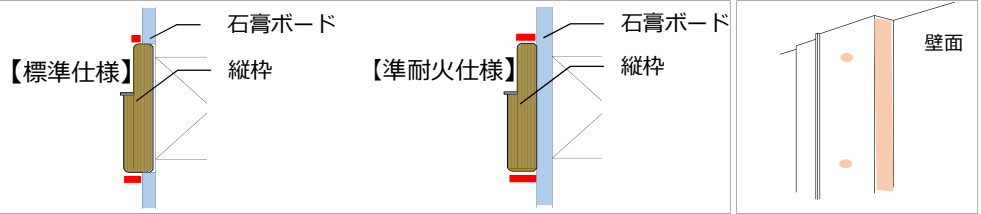
forステルス枠

施工手順書2021/9更新

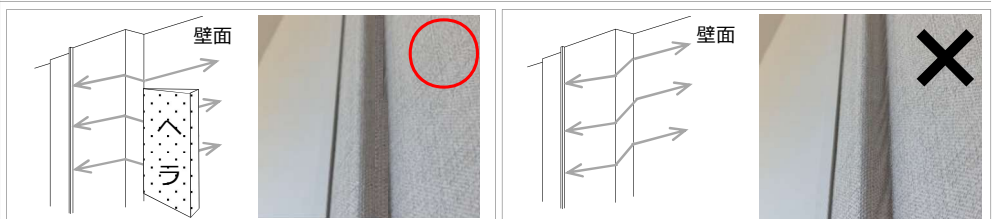
8' 縦枠クロス施工【縦枠入隅納まりの場合】

① 縦枠の入隅部は貼りづらく、クロスを貼る際にクロス面積が大きい壁面のクロスに引っ張られやすくなりますので注意が必要です。

縦枠の木口面にパテ等を塗り、クロスを貼る際は縦枠の木口面をヘラ等であてながら壁面のクロスに引っ張られないように、まっすぐ貼ってください。



ビス穴、縦枠の木口面全体にパテを塗る
(木口面の見附寸法が小さく、パテが塗りにくい箇所はコークボンドを塗る)
※但し、クロス厚が薄い場合はコークボンドで不陸が出ないようにご注意ください



枠の入隅部に貼る際、クロスは上下左右余裕をもったサイズで木口にヘラ等をあてながら壁面のクロスに引っ張られないようにまっすぐ貼る

枠の入隅部に貼る際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながらと貼ると壁面のクロスに引っ張られ、クロスよれの原因となります

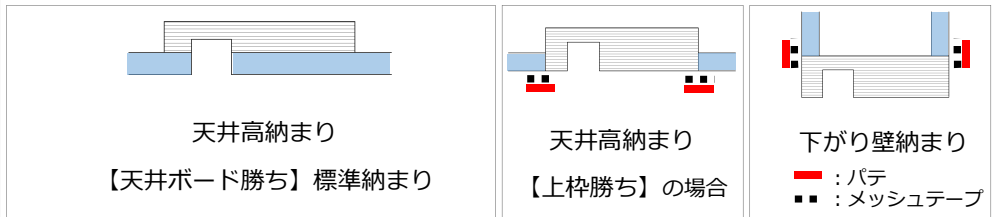
注意

※上枠下地の上レール溝部分はクロスを貼り伸ばして、上レール溝に巻き込んでください。

9 上枠クロス施工

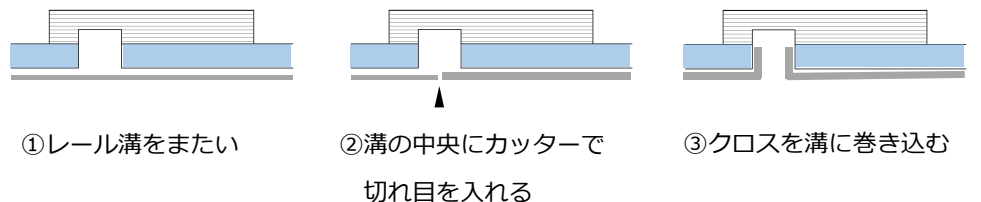
① 上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。※天井高納まりの場合、標準設定の【天井ボード勝ち】納まりではジョイント部が発生しませんので不要です。

上レールが取付く場合の天井クロスはレール溝に巻き込み、上レールを取付けてください。



クロスよれ等を防ぐため、【天井ボード勝ち】納まりを標準設定とします。

上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。

※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

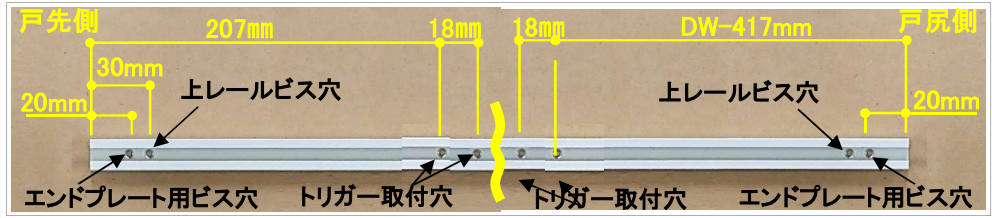
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

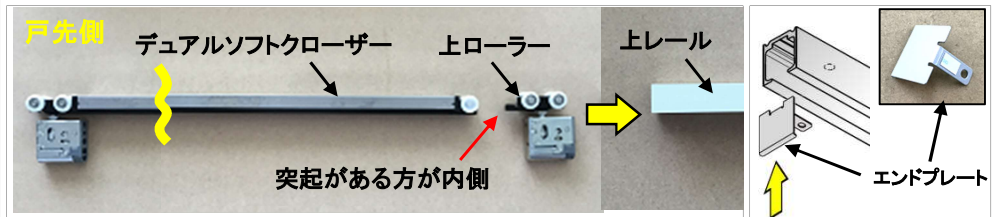
10 上レールの取付け

- ① 上レールを取付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)
上レールは別途梱包にあります。



上レールの戸先側の向き確認

- 上ローラーを上レール内部に入れてください。(デュアルソフトクローズが戸先側、上ローラーが戸尻側)
上レール端部にエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。
付属の取付けビスで、上レールとエンドプレートを上枠に固定してください。



上ローラーを上レールに入れる

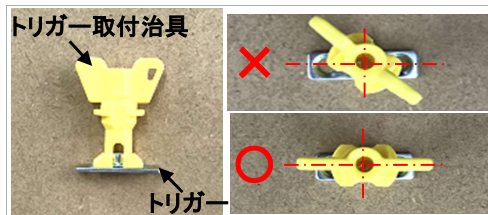
エンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定

注意

- ※戸尻側の上ローラーの向きに注意してください。(突起がある方が内側)
- ※ねじの締め過ぎやねじ頭の出っ張りに注意してください。上レールが変形したり、ねじ頭がソフトクローズに接触する等してソフトクローズが誤作動することがあります。
- ※トリガー取付け穴には、上レールビスを固定しないでください。
- ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

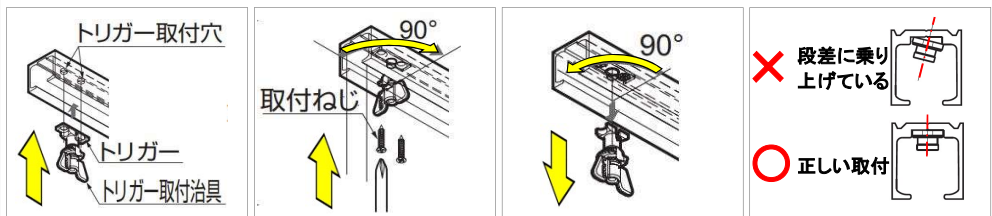
11 トリガーの取付け

- ① トリガーを取付治具にセットします。



トリガーをトリガー取付け治具にセット

- トリガーをトリガー取付穴に合わせてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。
治具の向きを戻し外してください。



トリガーの穴を合わせる

治具を90°回し、トリガーを取付ける

治具を外す

注意

- ※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
- ※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

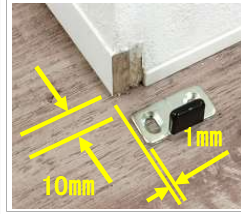
□片引き戸(上吊) 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

12 ガイドの取付け

- ① 各納まりに応じたガイドを取付けます。
金物は別途金物箱にあります。



床付ガイドの取付け



壁付ガイドの取付け
(別売品)

※床付ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

※上レール取付けの際、ビスを締め付けすぎると上レールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーにて行ってください。

注意

13 建具の吊り込み

- ① 建具下の溝をガイドに差し込みます。



建具溝を
床付ガイドに差し込む



建具溝を
壁付ガイドに差し込む

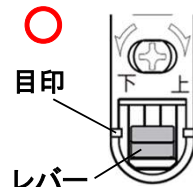
- ② 建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結して、吊り込み完了です。



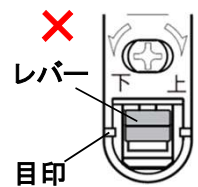
ケーシングと
上ローラーを連結する



パチンの音を確認



目印
レバー



レバー
目印

上ローラーのレバーの位置を確認する

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。

※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。

※上ローラーを取り外す際、素手では外れない場合はプライヤー等の工具を使用して取り外してください。

※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが利かなくなったり、上ローラーが破損する可能性があるため注意してください。

注意

□片引き戸(上吊)

forステルス枠

施工手順書2013/6更新

改訂2020/1

14 上ローラーの調整

① 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。



上ローラー
上下の調整



上ローラー
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0mm
下方向4.0mm
左右方向±2.0mm

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。

注意

※ソフトクローズ機能の調整はできません。

15 化粧キャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。

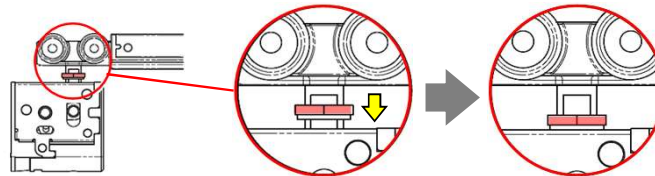
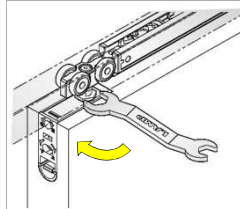


化粧キャップを取付ける



※化粧キャップを外す場合
化粧キャップの溝に
マイナスドライバー等を
差し込み外す

両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

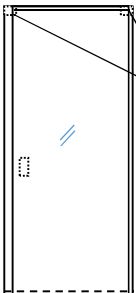
※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。

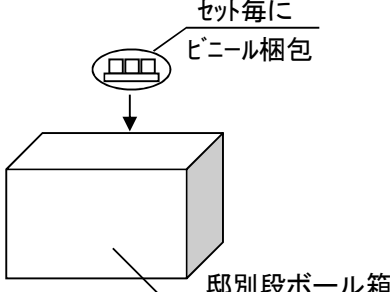
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。

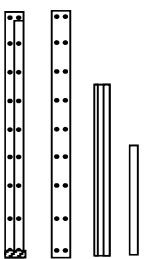

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】 forステルス枠
 【フィット専用】 施工手順書2021/9更新

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同	梱	品
部材	数量	備考			
引き戸	1枚	引手取付済み(注1) ケーシング取付済み			
 <p>ケーシング (旧名称:固定カップ)</p> <p>A面:ミラー/(注1)通し引手 B面:化粧面材/(注1)引手金物</p>					<p>(注意)</p> <p>フィットの扉重量は最大約55kgです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉を運ぶ時、吊り込む時の角当て等、取扱いには十分ご注意ください。 ・重量扉専用の上レール、上ローラーを使用しております。 ・他シリーズの上レール、上ローラーとは互換性がございません。

建具金物箱			同	梱	品
部材	数量	備考			
金物箱	10セットに付1箱				
 <p>セット毎に ビニール梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>					

下地枠			同	梱	品
部材	数量	備考			
縦枠下地	1本				
中方立下地	1本				
上枠下地	1本				
隙間隠し材	1本	上枠勝ち納まりは無し			
					
<p>施工手順書</p> 					

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】 forステンレス枠
 【フィット専用】 施工手順書2021/9更新

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地金物箱			上レール	上ローラー	デュアルソフトクローザー	
部材	数量	備考	 1本(付属ビス含む)	 1ヶ 黒色	 1ヶ	
金物箱	1式		同 エンドプレート	バンパーブロック	化粧キャップ	トリガー
レール	1式		 2ヶ(ビス2本付)	 1ヶ	 2ヶ	 2ヶ(ビス4本付)
 <p>セット毎に梱包</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>			梱 トリガー取付治具	スパナ	下部戸当り	調整ビス
			 1ヶ	 1ヶ	 1ヶ	 1ヶ
※下部部品はタイプにより異なります						
			品 標準品	別売品		
			床付ガイド	壁付ガイド		
			 1ヶ(ビス2本付)	 1ヶ(ビス4本付)		

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

forステンレス枠

施工手順書2021/9更新

1 施工前の確認事項

- ① 下地枠を取付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

※1				
	隙間がある	隙間がある	隙間なく固定	
	×	×	○	
※2				
	図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認			

注意

- ※下地枠は躯体（構造材）に取付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
- ※施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
- ※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で精度を十分に確認してください。

2 縦枠下地の取付け

- ① 縦枠下地を柱に固定します。（下地断面の厚みが薄い方が戸袋側）枠の位置は壁厚の真ん中に置き、柱にあててレーザー等で立ちを見ながら同梱されている調整ビスにて枠の固定を行ってください。（縦枠下地は壁厚より 1mmずつチリが出ます）
- ※準耐火の場合、1mmのチリはありません。
- ※準耐火納まりの場合、コーススレットビスになります。

石膏ボード 調整ビス 扉側	調整ビス	＜袖壁Ver.＞ ＜入隅Ver.＞ 接着剤塗布 コーススレット コーススレットビス 石膏ボード
	1mm	※壁厚と同じ巾の為、1mmずつのチリはない

調整ビスにより枠を固定

壁厚より1mmずつチリが出る

【準耐火納まりの場合】
コーススレットビスで固定(2mmクリアランスは無) 入隅の場合、石膏ボードの上に縦枠を取付け

- ② 取付けの際に調整ビスの中に同梱されているクリアランススペーサー(2mm)を躯体と枠の間に入れ、クリアランスを保ち、ビス固定を行ってください。（図面寸法：躯体と縦枠下地のクリアランスは2mm）
- また、縦枠下地の裏側下部にあらかじめ2mmのパッキン材がついています。
- ※準耐火納まりの場合、2mmの

クリアランススペーサー	調整ビス		パッキン材

クリアランススペーサーを挟む

2mmのクリアランスを保ち、調整ビスにより枠固定

あらかじめ縦枠下地の裏側下部に2mmのパッキン材がついている

注意

- ※縦枠下地の下部裏側にあらかじめ2mmのパッキン材が取付けてありますので、枠内寸法が確保できない場合以外は外さないでください。
- ※クリアランススペーサーが抜けない場合は、手動ドライバーにて少しゆるめてから外してください。
- ※躯体がスタッドの場合は石膏ボードに直接、縦枠下地を取付けると調整ビスが利かないので、必ず間に木材（15mm以上）を入れてください。
- ※調整ビスを何度も出し入れすると、ビス穴が広がり調整が利かなくなる可能性があるため、その際は別の所で再度、取付けを行ってください。

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

3 中方立下地の取付け

<p>① 戸尻側の中方立下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(ピン角側が扉側)</p> <p>中方立下地の位置は壁に対して7mm(塗り壁時4mm)のチリが出ますので、扉側に7mm(塗り壁時4mm)出した所におき、レーザー等で立ちを見ながら取付けビス(現場手配品)にて枠を固定してください。</p>	<p>取付けビス(現場手配品)</p> <p>扉側</p> <p>ピン角</p>	<p>取付けビス(現場手配品)</p> <p>7mm</p> <p>ピン角</p>	<p>取付けビス(現場手配品)</p> <p>4mm</p> <p>ピン角</p>	
	<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>ビスの止め方 × 頭が飛出している</p>	<p>ビスの止め方 ○ 頭が飛出していない</p> <p>ビスは下地表より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。</p>
<p>注意</p> <p>※戸尻側の中方立下地材は扉側がピン角になるように取付けを行ってください。</p> <p>※中方立下地材の納まりは、クロス貼り仕上と塗り壁仕上では異なります。取付け位置の寸法を確認して取付けを行ってください。</p> <p>※中方立下地材裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビ系をお奨めします)</p> <p>※中方立下地材の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。</p> <p>※中方立下地材取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。</p>				

4-1 上枠下地の取付け (上枠勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤、取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際、縦枠下地の戸袋側の面から1mm入った所に取付けてください。(縦枠ちに納まります)</p> <p>上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>	<p>狭い方</p> <p>戸袋側</p>	<p>広い方</p> <p>上枠下地</p>	<p>ボード</p> <p>縦枠下地</p> <p>戸先側</p> <p>上枠下地</p>	<p>木下地を入れる</p> <p>▽天井</p> <p>上枠下地</p> <p>縦枠下地を</p> <p>縦枠下地</p>
<p>② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。</p>	<p>注意</p> <p>躯体(木下地)</p> <p>接着剤</p> <p>上枠下地</p> <p>野縁</p> <p>野縁を躯体に確実に固定する</p> <p>厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地</p> <p>※扉1枚あたり最大重量55kg</p> <p>上枠下地を躯体に確実に固定する</p> <p>石膏ボード</p>			
<p>注意</p> <p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビ系をお奨めします)</p> <p>※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。</p> <p>※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。</p> <p>※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)</p> <p>※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁割れの原因となります。</p> <p>※縦枠下地及び片方立下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>	<p>石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定</p> <p>その後、野縁に石膏ボードを取付ける</p>			



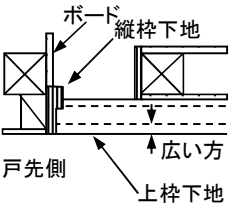
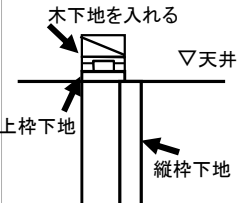
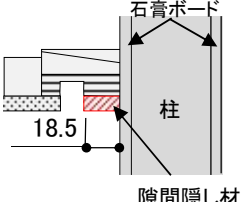
□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新


4-2 上枠下地の取付け (天井ボード勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤、取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際、縦枠下地の戸袋側の面から1mm入った所に取付けてください。(縦勝ちに納まります)</p> <p>上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>	 <p>狭い方 戸袋側</p>		 <p>ボード 縦枠下地 戸先側 広い方 上枠下地</p>	 <p>木下地を入れる ▽天井 上枠下地 縦枠下地</p>
<p>② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上レール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。</p> <p>上枠下地の上レール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸にカットして取りつけてください。</p>	<p>注意</p> <p>躯体(木下地) 上枠下地 接着剤 野縁</p> <p>野縁を躯体に確実に固定する</p> <p>石膏ボード</p> <p>上枠下地を躯体に確実に固定する</p> <p>厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地 ※扉1枚あたり最大重量55kg</p>	 <p>石膏ボード 柱 隙間隠し材 18.5</p> <p>上枠下地の上レール溝と小壁の間に隙間隠し材を取りつける</p> <p>※アウトセットの場合はクロス・塗り壁ともに18.5mm</p>		

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
- ※縦枠下地及び片方下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

5 縦枠下地の調整・クサビまたはパッキン材固定 ※準耐火納まりの場合は不要

<p>① 下地の取付け後に調整が必要な際は、手動ドライバーにて縦枠下地の出し入れを行ってください。</p>	 <p>ビスの止め方</p> <p>×</p>	 <p>ビスの止め方</p> <p>○</p>		
<p>② ビスでの取付け・調整が終わったら、縦枠下地と躯体の間にクサビ、またはパッキン(現場手配品)を接着剤併用にて入れて固定してください。</p>	 <p>クサビまたはパッキンの表裏に接着剤を塗布し、縦枠下地と躯体の間に差込む</p>	 <p>柱面からクサビ等が飛び出している</p> <p>×</p>	 <p>柱面からクサビ等が飛び出していない</p> <p>○</p>	<p>クサビまたはパッキンの入れ方</p>

注意

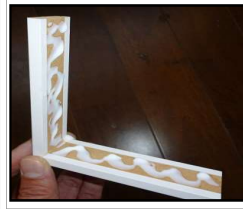
- ※ウォールスルーが並列する場合や、その他納まりでビスがはみ出してしまう恐れがある場合については、別のビス(現場手配品)にて取付けを行ってください。
- ※クサビ、またはパッキンは、ビスとビスの間にレーザー等で立ちを見ながら行ってください。
- ※クサビ、またはパッキンが柱面から飛び出していると石膏ボードの取付けができないので、柱面からクサビ等が飛び出さないようにしてください。

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】 【フィット専用】

forステルス枠
施工手順書2021/9更新

6 巾木施工

- ① 巾木を接着剤にて縦枠下地の欠き込み部分にはめ込むように取付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



下地の巾木欠き込み部分
(7×30)



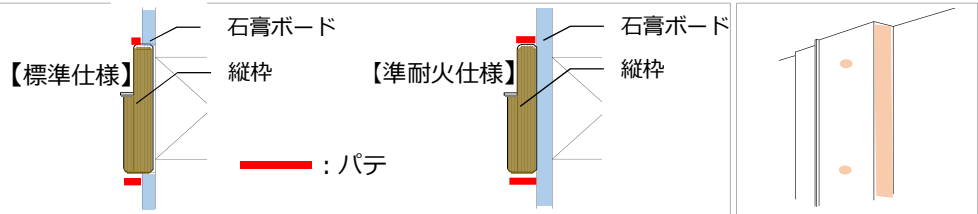
下地の欠き込み部分に
はめ込む様に取り付け

※出荷時にはシンプル巾木の欠き込み(7×30)がされています。30mm以上の巾木をご使用の場合は、現場にて高さ方向の切り欠きを行ってください。
(巾木厚さ7mm以上の対応は行っていません)

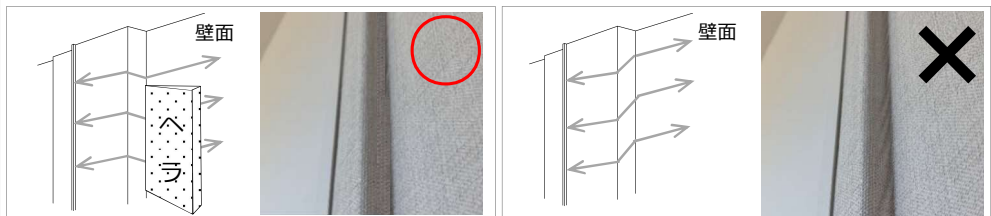
**注
意**

7 縦枠クロス施工

- ① 縦枠の入隅部は貼りづらく、クロスを貼る際にクロス面積が大きい壁面のクロスに引っ張られやすくなりますので注意が必要です。
縦枠の木口面にパテ等を塗り、クロスを貼る際は縦枠の木口面をヘラ等であてながら壁面のクロスに引っ張られないように、まっすぐ貼ってください。



ビス穴、縦枠の木口面全体にパテを塗る
(木口面の見附寸法が小さく、パテが塗りにくい箇所はコークボンドを塗る)
※但し、クロス厚が薄い場合はコークボンドで不陸が出ないようにご注意ください



枠の入隅部に貼る際、クロスは上下左右余裕をもったサイズで木口にヘラ等をあてながら壁面のクロスに引っ張られないようにまっすぐ貼る

枠の入隅部に貼る際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼ると壁面のクロスに引っ張られ、クロスよれの原因となります

**注
意**

※上枠下地の上レール溝部分は、クロスを貼り伸ばして上レール溝に巻き込んでください。

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

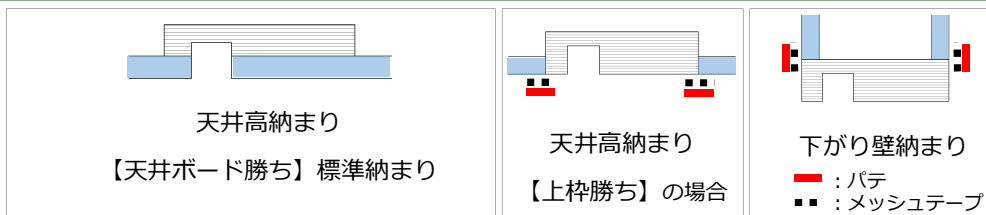
forステルス枠

施工手順書2021/9更新

【フィット専用】

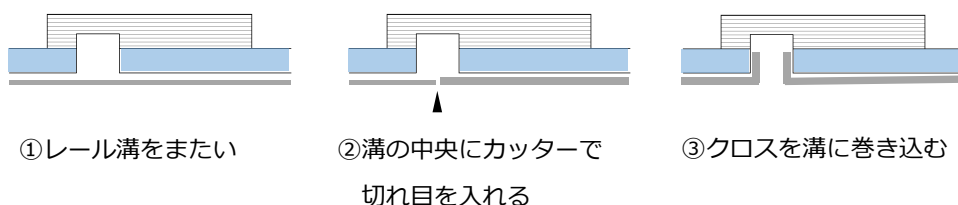
8 上枠クロス施工

- ① 上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。※天井高納まりの場合、標準設定の【天井ボード勝ち】納まりではジョイント部が発生しませんので不要です。
上レールが取付く場合の天井クロスはレール溝に巻き込み、上レールを取付けてください。



クロスよれ等を防ぐため、【天井ボード勝ち】納まりを標準設定とします。

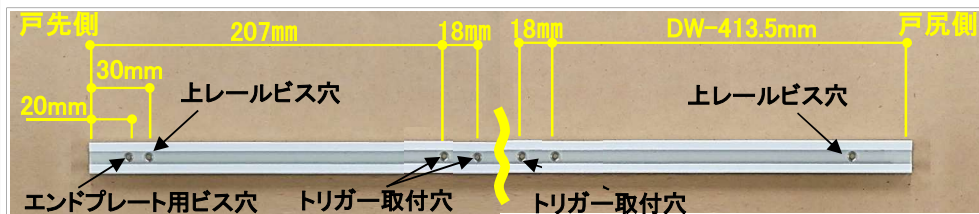
上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



- 注意**
- ※戸尻側の上ローラーの向きに注意してください。(突起がある方が内側)
 - ※トリガー取付穴には、上レールビスを固定しないでください。
 - ※建具の開閉は勢いよくやりすぎると、金物が破損する可能性があるので注意してください。
 - ※バンパーブロックを戸尻側に入れるのを忘れないでください。

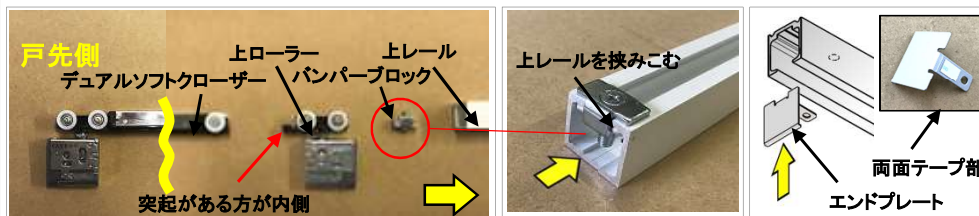
9 上レールの取付け

- ① 上レールを取付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズの為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)
上レールは別途梱包にあります。



上レールの戸先側の向き確認

- ② 上ローラーを上レール内部に入れてください。(デュアルソフトクローザーが戸先側、上ローラーのみが戸尻側)
戸先側の上レール端部にエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。
付属の取付けビスで、上レールとエンドプレートを上枠に固定してください。



上ローラーを上レールに入れる

バンパーブロックはビスを緩め上レールをはさみこむようにして仮止めする

上レール両端にエンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定する

- 注意**
- ※戸尻側の上ローラーの向きに注意してください。(突起がある方が内側)
 - ※トリガー取付穴には、上レールビスを固定しないでください。
 - ※建具の開閉は勢いよくやりすぎると、金物が破損する可能性があるので注意してください。
 - ※バンパーブロックを戸尻側に入れるのを忘れないでください。

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

10 トリガーの取付け

<p>① トリガーを取付治具にセットします。</p>				
<p>トリガーをトリガー取付治具にセット</p>				
<p>② トリガーをトリガー取付穴に合わせてください。 治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。 治具の向きを戻し外してください。</p>				
<p>トリガーの穴を合わせる</p>		<p>治具を90°回し、 トリガーを取付ける</p>	<p>治具を外す</p>	

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めするとトリガーが変形してしまう恐れがあるので、注意してください。

※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

注意

11 バンパーブロック・ガイドの取付け

<p>① バンパーブロックを本締めして固定します。(上レールの端部ぎりぎりに寄せて固定してください) 金物は別途金物箱にあります。</p>				
<p>バンパーブロックの 取付位置を確認</p>		<p>締め付けは 手動ドライバーで行う</p>	<p>上レールをバンパーブロッ クで挟み込む</p>	
<p>② 各納まりに応じたガイドを取付けます。 壁付ガイド(別売品)の場合は、ガイドと壁の隙間にかい木(現場調達)を入れてください。 金物は別途金物箱にあります。</p>				
<p>床付けガイドの取付け</p>		<p>壁付ガイド(別売品)の取付け 隙間にかい木を入れてください</p>		

※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

注意

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

12 建具の吊り込み

<p>① 建具下の溝をガイドに差し込みます。</p>				
	<p>建具溝を 床付ガイドに差し込む</p>	<p>建具溝を 壁付ガイドに差し込む</p>		
<p>② 建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結し吊り込み完了です。</p>				
	<p>ケーシングと 上ローラーを連結する</p>	<p>パチンの音を確認</p>	<p>上ローラーのレバーの位置を確認する</p>	
<p>注意</p>	<p>※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。 ※上ローラーとケーシングはパチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。 ※上ローラーを取り外す際、素手では外れない場合 プライヤー等工具を使用し取り外してください。 ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、上ローラーが破損する可能性があるので注意してください。</p>			

13 下部戸当りの取付け

<p>① 扉を戸尻側に寄せて扉の下部に戸当りを取付けてください。 (扉の端部から2.5mm離し、見込み方向の真ん中に取付けてください) 金物は別途金物箱にあります。</p>				
	<p>座の取付け</p>	<p>カバーをつける</p>		

注意

□アウトセット片引き戸(上吊) 【エンド枠付タイプ】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

14 上ローラーの調整



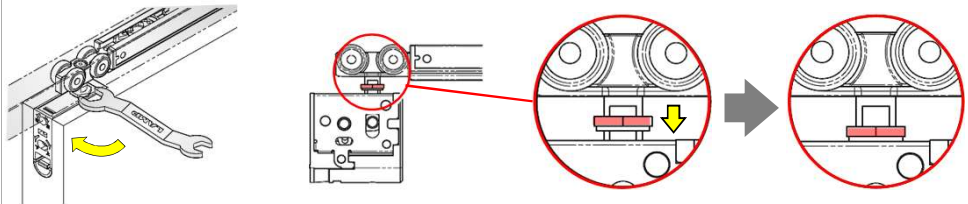
<p>① 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。</p>			<p>【調整範囲】 上方向3.0mm 下方向4.0mm 左右方向±2.0mm</p>	
	<p>上ローラー 上下の調整</p>	<p>上ローラー 左右の調整</p>		

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。

※ソフトクローズ機構の調整はできません。

注意

15 化粧キャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

<p>① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。</p>				
<p>② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。</p>				
	<p>両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める</p>			

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。

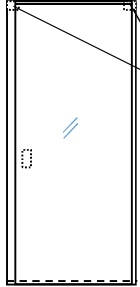
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。

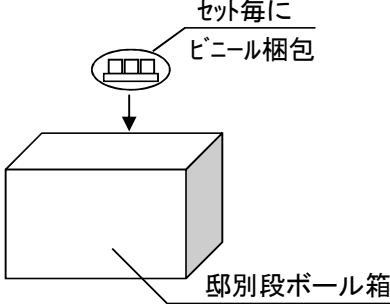
注意

□ **アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】** forステルス枠
【フィット専用】 施工手順書2021/9更新

■ **製品及び同梱内容の確認**

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同					
部材	数量	備考		梱				
引き戸	1枚	引手取付済み(注1) ケーシング取付済み			品			
 <p>ケーシング (旧名称:固定カップ)</p> <p>A面:ミラー(注1)通し引手 B面:化粧面材(注1)引手金物</p>				<p>(注意)</p> <p>フィットの扉重量は最大約55kgです。 ・扉を運ぶ時、吊り込む時の角当て等、取扱いには十分ご注意ください。 ・重量扉専用の上レール、上ローラーを使用しております。</p>				








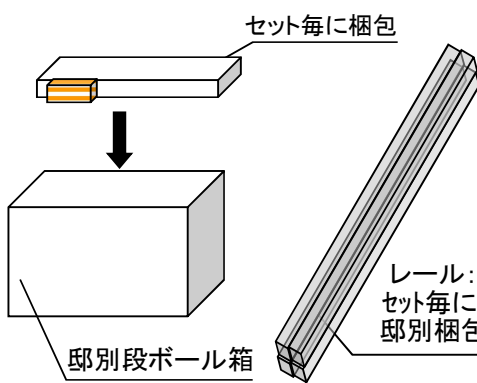


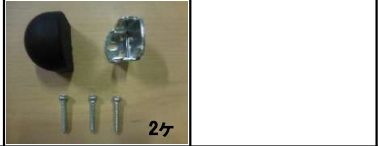


建具金物箱			同					
部材	数量	備考		梱				
金物箱	10セットに付1箱				品			
 <p>セット毎に ビニール梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>								

下地枠			同	施工手順書			
部材	数量	備考		梱			
中方立下地	2本					品	
上枠下地	1本						
隙間隠し材	1本	上枠勝ち納まりは無し					
							

□ **アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】** forステルス枠
【フィット専用】 施工手順書2021/9更新

■ **製品及び同梱内容の確認**

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地金物箱			上レール	上ローラー	デュアルソフトクローザー			
部材	数量	備考	 1本(付属ビス含む)	 1ヶ	 1ヶ			
金物箱	1式		エンドプレート	バンパーブロック	化粧キャップ	トリガー		
レール	1式		 2ヶ(ビス2本付)	 2ヶ	 2ヶ	 2ヶ(ビス4本付)		
 <p>セット毎に梱包</p> <p>レール: セット毎に 邸別梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>			トリガー取付治具	スパナ	下部戸当り			
			 1ヶ	 1ヶ	 2ヶ			
			※下部部品はタイプにより異なります					
			標準品	別売品				
床付ガイド	壁付ガイド							
 1ヶ(ビス2本付)	 1ヶ(ビス4本付)							

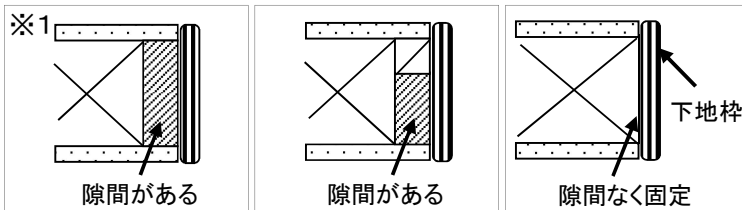
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

1 施工前の確認事項

- ① 下地枠を取付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（中方立下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

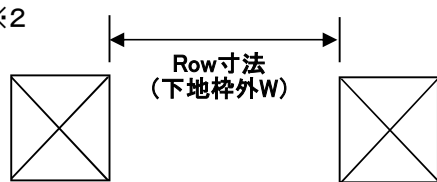


×

×

○

※2



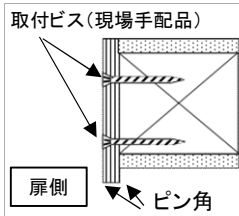
図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認

注意

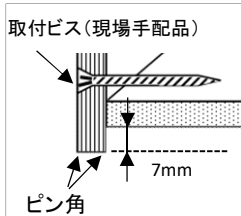
- ※1：下地枠は躯体（構造材）と面接するように取付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木を全面に入れておいてください。
 ※2：施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
 ※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で精度を十分に確認してください。

2 中方立下地の取付け

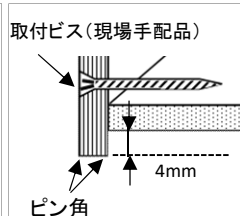
- ① 中方立下地を接着剤・取付けビス（現場手配品）併用にて躯体に固定します。（ピン角側が扉側）
 中方立下地の位置は壁に対して7mm（塗り壁時4mm）のチリが出ますので、扉側に7mm（塗り壁時4mm）出した所におき、レーザー等で立ち上がりを見ながら取付けビス（現場手配品）にて枠を固定してください。



調整ビスにより枠を固定



壁厚より7mmチリが出る（クロス貼り仕上の場合）



壁厚より4mmチリが出る（塗り壁仕上の場合）



下地裏面に接着剤 全面塗布



下地表よりビス固定



ビスは下地表より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。



ビスは下地表より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。

注意

- ※中方立下地材は扉側がピン角になるように取付けを行ってください。
 ※中方立下地材の納まりは、クロス貼り仕上と塗り壁仕上では異なります。取付け位置の寸法を確認して取付けを行ってください。
 ※中方立下地材裏面には、必ず接着剤（現場手配品）を全面に塗布してください。（許ビス系をお奨めします）
 ※中方立下地材の取付けにはしっかりと固定できるビス（現場手配品）を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※中方立下地材取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

3-1 上枠下地の取付け(上枠勝ち納まりの場合)

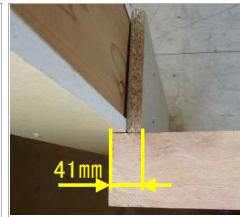
- ① 上枠下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際に戸先側を中方立下地の表面から41mm壁にかぶるように取付けを行ってください。
上枠下地の裏には30mm以上の木材を入れてください。



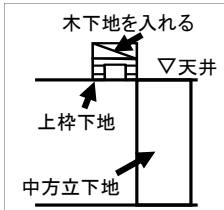
下地裏面に接着剤全面塗布



下地表よりビス固定

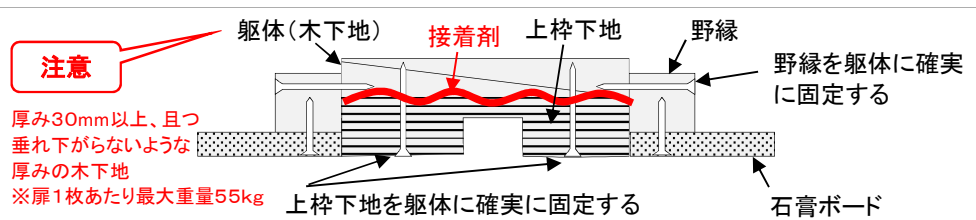


上枠下地取付け位置
(中方立下地から41mm)



上枠下地の裏には
木下地を入れる

- ② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置でビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

3-2 上枠下地の取付け(天井ボード勝ち納まりの場合)

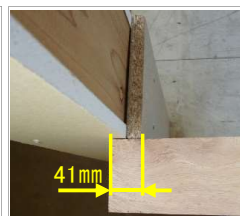
- ① 上枠下地を接着剤・取付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際に戸先側を中方立下地の表面から41mm壁にかぶるように取付けを行ってください。
上枠下地の裏には30mm以上の木材を入れてください。



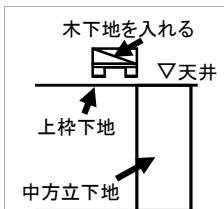
下地裏面に接着剤全面塗布



下地表よりビス固定

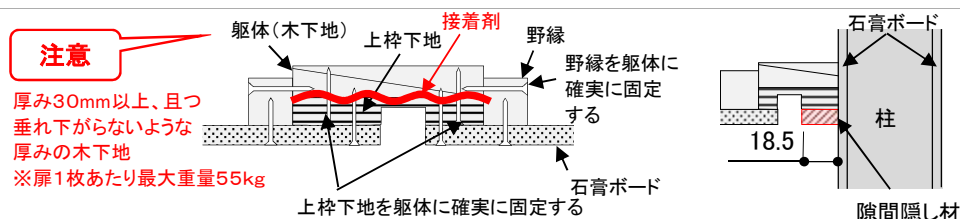


上枠下地取付け位置
(中方立下地から41mm)



上枠下地の裏には
木下地を入れる

- ② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードを上レール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

上枠下地の上レール溝と小壁の間に
隙間隠し材を取りつける
※アウトセットの場合はクロス・塗り壁ともに18.5mm

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、上レールビスと干渉しない位置でビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず厚み30mm以上、且つ垂れ下がらないような厚みの木下地を入れてください。(扉1枚あたり最大重量55kg)
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス、塗り壁の割れの原因となります。

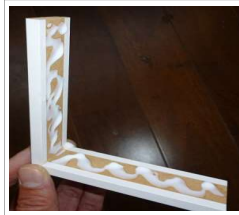
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

4 巾木・クロス施工

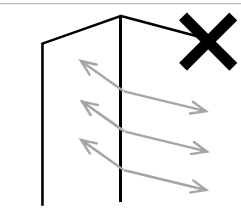
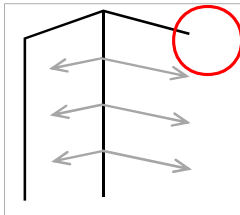
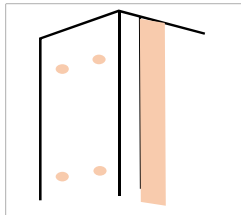
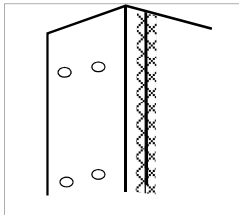
- ① 巾木を接着剤にて取付けてください。(酢ビ系接着剤をお奨めします)



接着剤全面塗布

巾木取付け

- ② 中方立下地と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。
下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。
金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。



ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る

ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)

枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る

クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります

注意

※上枠下地の上レール溝部分は、クロスを貼り伸ばし上レール溝に巻き返してください。

5 上枠クロス施工

- ① 上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。※天井高納まりの場合、標準設定の【天井ボード勝ち】納まりではジョイント部が発生しませんので不要です。
上レールが取付く場合の天井クロスはレール溝に巻き込み、上レールを取付けてください。



天井高納まり

【天井ボード勝ち】標準納まり



天井高納まり

【上枠勝ち】の場合

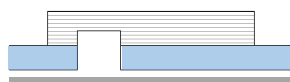


下がり壁納まり

■ : パテ
■ : メッシュテープ

クロスよれ等を防ぐため、【天井ボード勝ち】納まりを標準設定とします。

上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



①レール溝をまたいで



②溝の中央にカッターで切れ目を入れる



③クロスを溝に巻き込む

注意

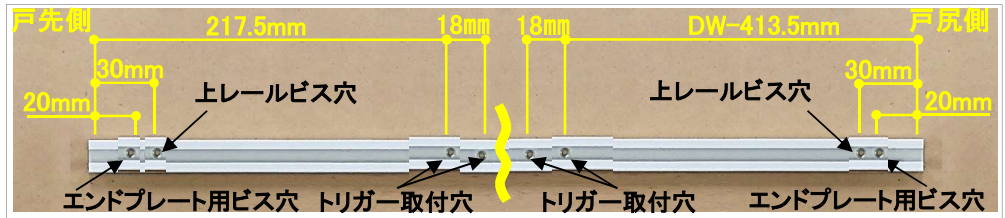
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステンレス枠

施工手順書2021/9更新

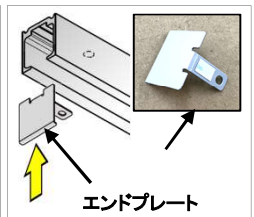
6 上レールの取付け

① 上レールを取付ける際、戸先側、戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされており、距離の短い方が戸先側になります)
上レールは別途梱包にあります。



上レールの戸先側の向き確認

② 上ローラーを上レール内部に入れてください。(デュアルソフトクローザーが戸先側、上ローラーのみが戸尻側)



上ローラーを上レールに入れる

バンパーブロックはビスを緩め上レールをはさみこむようにして仮止めする

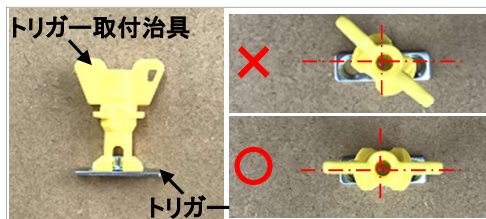
上レール両端にエンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定する

注意

- ※戸尻側の上ローラーの向きに注意してください。(突起がある方が内側)
- ※トリガー取付け穴には上レールビスを固定しないでください。
- ※バンパーブロックは戸先側・戸尻側の端部にそれぞれ入れてください。
- ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

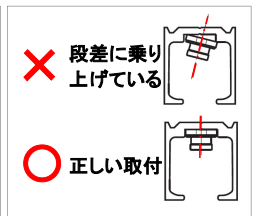
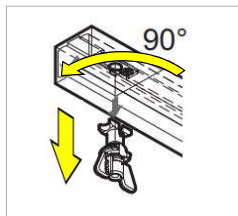
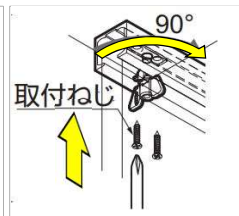
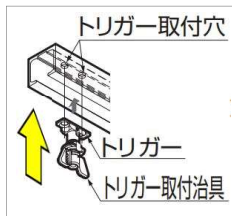
7 トリガーの取付け

① トリガーを取付治具にセットします。



トリガーをトリガー取付け治具にセット

② トリガーをトリガー取付穴に合わせてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。
治具の向きを戻し外してください。



トリガーの穴を合わせる

治具を90°回し、トリガーを取付ける

治具を外す

注意

- ※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
- ※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

8 バンパーブロック・ガイドの取付け

- ① 戸先、戸尻側のバンパーブロックの本締めをして固定します。
(上レールの端部ぎりぎりに寄せて固定してください)
金物は別途金物箱にあります。

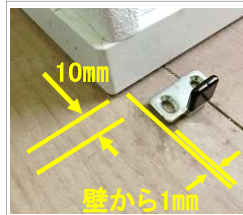


バンパーブロックの
取付位置を確認

締め付けは
手動ドライバーで行う

上レールをバンパーブロッ
クで挟み込む

- ② 各納まりに応じたガイドを取付けます。
壁付ガイド(別売品)の場合は、ガイドと壁の隙間にかい木(現場調達)を入れてください。
金物は別途金物箱にあります。



床付ガイドの取付け

壁付ガイド(別売品)の取付け
隙間にかい木を入れてください

※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

注意

9 建具の吊り込み

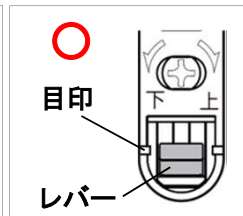
- ① 建具下の溝をガイドに差し込みます。



建具溝を
床付ガイドに差し込む

建具溝を
壁付ガイドに差し込む

- ② 建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結し、吊り込み完了です。



ケーシングと
上部上ローラーを連結する

パチンの音を確認

上ローラーのレバーの位置を確認する

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。

※上ローラーとケーシングはパチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。

※上ローラーを取り外す際、素手では外れない場合はプライヤー等の工具を使用し取り外してください。

※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、上ローラーの破損・脱落の可能性があるので注意してください。

注意

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠なしタイプ】 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/9更新

10 下部戸当りの取付け・上ローラーの調整

<p>① 扉を戸尻側に寄せて扉の下部に戸当りを取付けてください。 (扉の端部から2.5mm離し、見込み方向の真ん中に取り付けてください) 戸先側・戸尻側共、同様に行ってください。 金物は別途金物箱にあります。</p>				
<p>② 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。</p>			<p>【調整範囲】 上方向3.0mm 下方向4.0mm 左右方向±2.0mm</p>	
	<p>上ローラー 上下の調整</p>	<p>上ローラー 左右の調整</p>		

注意

11 化粧キャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

<p>① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。 外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。</p>				
<p>② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。</p>				
	<p>両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める</p>			

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。

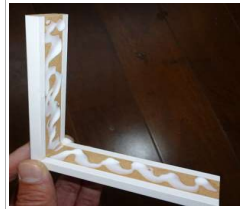
□ 塗り壁仕様施工方法 【フィット専用】

forステルス枠

施工手順書2021/1作成

1-1 共通事項

- ① 枠の取付け・調整、クサビまたはパッキンの固定が終わったら、巾木を接着剤にて縦枠下地の欠込み部分にはめ込むように取付けてください。(接着剤は酢ビ系をおすすめします)



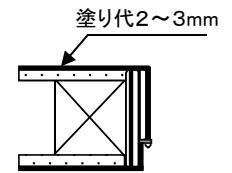
接着剤全面塗布



下地の巾木欠き込み部分
(4×30)



下地の欠き込み部分にはめ込む様
に取付け



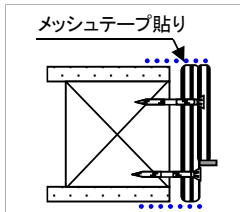
塗り代2～3mm

注意

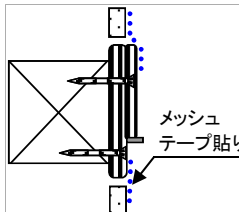
- ※出荷時には巾木の欠き込みはクロス仕様よりも3mm浅く(4mm)欠き込んであります。(巾木の厚み7mm以上の対応は行っておりません)
 ※塗りの厚みは2～3mmの設定になっているため、受金物もクロス仕様より2～3mm出っ張るよう加工されています。
 ※天井はクロス貼り、下がり壁は塗り仕上げの仕様となります。(下り壁仕上げ面の塗りの厚みは1.5mm以内となります)

1-2 共通事項

- ① 樹脂見切り・巾木・見切縁等に隙間がないように養生を確実にし、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼ってください。

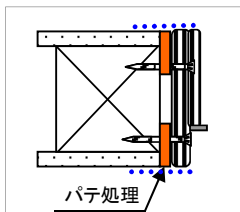


メッシュテープ貼り
(石膏ボードと枠をまたぐように貼る)

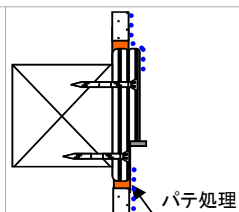


メッシュテープ貼り

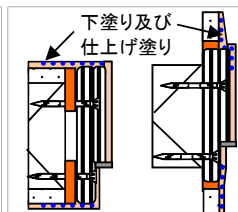
- ② メッシュテープを貼った後、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1～2日乾燥させてください(漆喰の場合は2度塗り)。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3～4日乾燥させてください。この時、ビス部分にもパテ処理を行ってください。



パテ処理(下地処理)
(2度塗りを推奨)



パテ処理



下塗り及び
仕上げ塗り

注意

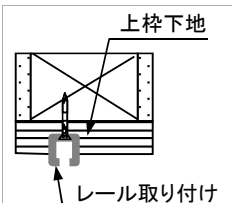
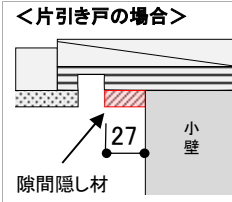
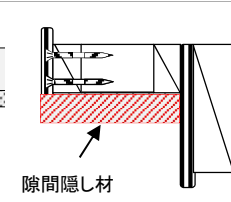
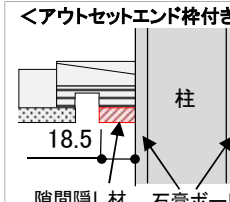
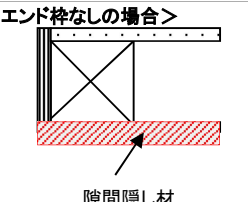
- ※受金物・樹脂見切り・金物台座・巾木・見切り縁等は出の寸法が異なりますので、はみ出さないよう注意して塗ってください。
 ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1～2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。

□ 塗り壁仕様施工方法 【フィット専用】

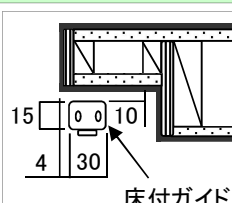
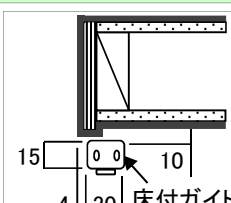


forステルス枠

施工手順書2021/1作成

2-1 塗り壁施工前手順

<p>① <レールの取付け> 下り壁仕様の場合、引き戸レールは塗り壁施工前に取付けてください。</p>	 <p>上枠下地 レール取付け</p>			
	<p>塗り壁施工前に レール取付け</p>			
<p>② <隙間隠し材の取付け> 【天井ボード勝ち納まりの場合】 天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸カットして取付けてください。</p>	<p><片引き戸の場合></p>  <p>隙間隠し材 小壁</p>	 <p>隙間隠し材</p>	<p><アウトセットエンド枠付き・エンド枠なしの場合></p>  <p>隙間隠し材 石膏ボード</p>	 <p>隙間隠し材</p>
	<p><片引き戸の場合> 上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を取付ける ※塗り壁の場合は27mm、クロスの場合は24mm</p>	<p><アウトセットエンド枠付き・エンド枠なしの場合> 上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を取付ける ※アウトセットの場合はクロス・塗り壁ともに18.5mm</p>		
<p>注意 ※塗りは下り壁の場合のみの設定です。天井納まりの場合はクロス貼り仕様のため、クロス貼り後にレールを取付けてください。 ※見切縁はボードより2.5mmチリが出ますので、見切縁よりもはみ出さないように塗り壁施工を行ってください。</p>				

2-2 塗り壁施工前手順

<p>① <床付ガイドの取付け> 塗りの厚みが3mmの場合、塗り仕上げ面からそれぞれ所定の位置にガイドを取付けてください。</p>	 <p>床付ガイド</p>	 <p>床付ガイド</p>		
	<p>片引き戸 (上吊) 床付ガイド位置</p>	<p>アウトセット 床付ガイド位置</p>		
<p>② <壁付ガイド(別売品)の取付け> 塗りの厚みが3mmの場合、塗り仕上げ面からそれぞれ所定の位置にガイドを取付けてください。</p>	 <p>壁付ガイド</p>	 <p>壁付ガイド</p>		
	<p>片引き戸 (上吊) 壁付ガイド位置</p>	<p>アウトセット 壁付ガイド位置</p>		
<p>注意 ※塗りの厚みが3mmの場合の塗り仕上げ面からの位置になります。 ※壁付ガイドは隙間にかい木 (現場調達) を入れて取付けてください (9ページの11、18ページの10、26ページの7参照)。</p>				

